

紺碧沖縄

第95号

January 2026

編集・発行



社会福祉法人
沖縄県社会福祉事業団

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4丁目373番地1
TEL.098-884-3173 (代) FAX.098-882-5688

✉ o.fukusi@okinawa-j.jp
🌐 <http://www.okinawa-j.jp/>

外部講師の目下部由美子氏、具志川厚生園養護老人ホーム利用者作品



新年のあいさつ

理事長 きんじょう としひこ
金城 敏彦



新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、当法人の運営に温かいご支援とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年11月に「新時代 社会福祉事業団 不易流行の舵をとれ」を地域に求められるマルチフルな事業団を目指して、をテーマ・サブタイトルに第58回全国社会福祉事業団大会が37年ぶりに沖縄県で開催されました。近年、少子高齢・人口減少・物価高騰・人材確保難など様々な課題が立ちはだかるなかにあつても、社会福祉法人には、福祉を守り抜く経営実践と未来に向けた事業展開を描く必要があることから、基調講演、特別講演、分科会において生産性の向上、公益的な取り組み、外国人材の活用など具体的な取り組み実践の発表とパネルディスカッションを通じて今後の目指すべき姿を展望する大会となりました。全国各地から参加いただいた皆様、また、担当事業団として大会準備に関わって頂きました関係者の皆様、当法人の職員の皆様、大変ありがとうございました。大役を終え、皆様のおかげで無事新年を迎えることができました。

さて、令和8年の干支は「丙午」(ひのえうま)です。60年に一度巡ってくる干支で、力強さや前進が象徴され、情熱や変化の年ともいわれています。法人の使命である「利用者の人権を尊重し、安全・安心・快適なサービス」の提供がより前進し利用者様、ご家族様、職員からより多くの笑顔がみられる福祉サービスの提供に期待しております。

本年も、福祉専門職としてより一層の知識・技術の向上に努め、ご利用者の皆様に最善のサービスが提供できるよう全職員が一丸となり精一杯責務に邁進する覚悟でございますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様にとりまして令和8年が素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

事務局主催研修を受講して

権利擁護・虐待防止研修

児童養護施設・保育所・女性自立支援施設の職員を対象とした「権利擁護・虐待防止研修」をオンラインにて開催しました。認定NPO法人ひだまりの丘 理事長 蛭沢光氏を講師として、支援者としての倫理観及び不適支援が起きる要因についてご講話いただきました。



児童家庭支援センターはりみず
心理療法担当
まつもと ゆうみず

松元 優作

意見とは、表情・態度といった言葉以外の表現方法があると改めて感じました。幼児や発達障害のある子どもたちは、言葉による意思疎通が困難な場合もあります。

支援者は、利用者が何を伝えたいのか常に思いをめぐらせ、発信された様々なメッセージを丁寧にキャッチしていくことが求められると感じました。

権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化研修

障害児・者施設、救護施設、高齢者施設の職員を対象とし、オンラインにて開催しました。一般社団法人権利擁護支援プロジェクトと代表理事 川端伸子氏を講師として利用者に対する倫理観・不適切支援が起きる背景要因等についてご講話いただきました。



北嶺学園
介護員
まえだ りさ

前田 梨沙

拘束をする事で生む悪循環がある事を知る事が出来ました。自分に余裕がないと支援が難しくなり、虐待や拘束をしてしまう事に繋がっていくと思うので職員間で話しやすい環境作りをし、利用者には安全・安心、楽しく過ごせるよう、改めて楽しくやりがいを持つて仕事が出来るようにしたいと思いました。

事故防止対策研修

事故防止対策研修を開催しました。ベラガイア 17☆人材開発総合研究所代表 梅沢佳裕氏を講師として、ヒヤリハット及び事故報告書の書き方、活かし方についてご講話いただきました。



沖縄療育園
介護員
いしみね 義博

幸野 誠

今回の研修で業務に携わる一つひとつの気付きが事故を防ぎ現場を守る大きな力になることを学んだ。沖縄療育園ではヒヤリハットの提出が少なく、次気をつければ良い等の考えの職員もいることから、今後に繋げるためにもヒヤリハットを活用して職員で情報を共有し、対策を考えていける職場風土を作っていきたいと思った。

感染症対策研修

感染症対策研修を開催しました。昨年に引き続き、医療法人ユカリア沖縄 かんな病院 感染管理認定看護師であります伊波千恵子氏を講師として、感染症の基礎知識及びBCPの重要性についてご講話いただきました。

いしみね 義博
看護士

儀保 幸次

今回の研修で、看護師として感染対策の基礎を再確認し、さらにBCPの視点から、災害や感染拡大時にも、安全な医療・福祉提供を継続できる体制づくりの必要性を強く感じました。平時からの準備と連携の大切さを学び、福祉の現場でどう活かすのか考えるいい機会になりました。

栄養士・機能訓練指導員・介護員を対象にした研修

栄養士・機能訓練指導員・介護員を対象にした研修を開催しました。合同会社 Corner 代表 大城清貴氏を講師として、食事形態及び多職種連携についてご講話いただきました。



あけぼの学園
介護員
すなかわ あけみ

砂川 明美

食べるメカニズムを理解し、どの部分で問題が起きているかを知り支援に繋げる事が大事であることを改めて再認識しました。また、お菓子を粉々にし、トロミ剤やゼリーを使用して刻み食等の体験をしました。実際に食することで、普段利用者がどのように味覚や触感等感じ、嚥下をしているのかを学ぶことができました。食「人」を「良く」する。改めて食支援の大切さを知ることができました。利用者がいつまでも食べる楽しみが持てるよう今後の支援にも繋げていきたいと思います。

施設ケアマネを対象にした研修

施設ケアマネを対象にした研修を開催しました。株式会社ケアレジェ代表取締役 高松誠氏を講師として、利用者支援と生産性向上についてご講話いただきました。



名護厚生園
介護支援専門員
みやざき まさき

宮里 真樹

「ていねい語」を使うと利用者・家族との信頼関係を築くことができ、身体的虐待のリスクを減らせる効果がある。対等な立場である必要はなく利用者が上の立場である」という言葉が印象に残りました。研修を終えて、普段から「ていねい語」を意識し業務終了後に振り返ることから始めたいと思います。今後「ていねい語」が浸透する方法をみんなで考えていきたいと思います。

【働きやすい職場づくり業務改善研修プログラム】に参加して



八重山厚生園
介護員

根原 慎
ねはら まこと

現代社会では、時間や人材・設備等の資源が限られているため、生産性の向上が重要になってます。介護現場でも人材不足の中、限られた時間と今も頑張っている職員で多くの利用者を支える必要があります。八重山厚生園でもその直面にさらされています。黒島園長を中心に、多職種でのチームを作り、宮城介護課長をプロジェクトリーダーに置き、生産性向上委員会を立ち上げました。何から手を付けたらいいのかわからない状態だった所、【介護業務・テクノロジー伴走支援センターおきなわ】主催の【働きやすい職場づくり業務改善研修プログラム】があると情報を受け、3名で参加しながら、取り組みを進める事にしました。

まず初めに、気づきシートを使用し、日常業務の中にある「ムリ・ムダ・ムラ」を振り返ってアンケートを全職員対象に実施しました。次に、収集した気づきシートを基に課題となるキーワードを抽出し、「原因・結果・悪影響」を深掘りしながら整理し、因果関係図づくりをチーム内で話し合いながら行いました。写真はその時の様子です。メンバーからはこの作業が一番楽しかったと話がありました。

次の取り組みでは、「打ち手の検討」で、因果関係図の矢印上に7つの打ち手を決

める作業で、因果を断ち切るイメージを持ちながら取り組むべき内容を決めました。取り組むべき内容を文章化し、深掘した課題をどのように解決したいか明文化した結果、「5Sに関する手順書」がないため整理整頓が出来ておらず、書類を探すなどの「ムダ」な時間が多くあり、情報共有に「ムラ」がある。その為人任せになり、結果一部の職員に「ムリ」な状況が生じていると考えられる。手順書の作成をし、業務の中に【片付け】の時間を組み入れ、それを周知徹底する事で職員の身体的・精神的負担の軽減や働きがいの向上につながる事が期待できる。」と道筋を決め、目標として、「生産性向上の基本である5S(整理・整頓・清掃・清潔・美・3M(ムリ・ムラ・ムダ)に関する仕組みを構築する事によって、より効率的な業務が可能となり、職員の身体的・精神的負担の軽減や働きがいの向上を図り、持続的な施設運営を目指す。」を掲げ、取り組みを実践している最中です。今後、どのように変わって行くか楽しみです。このよう

な取り組みで、職員の負担を減らしながら、利用者へのケアの質を保ち、限られた時間をより良いケアにしていきたいと思っています。



伴走支援プログラム



具志川厚生園
園長

福地 政幸
ふくち まさゆき

令和7年8月1日、具志川厚生園は、「働きやすい職場づくり業務改善プログラム&伴走支援」へ申し込み、キックオフイベントへ参加しました。

今回、具志川厚生園が参加した最大の目的は、補助金を活用した上でこれからの介護に即した介護システムの刷新でした。しかしながら、現在使用している介護システムでは2021年に創設された「ライフ加算(科学的介護推進体制加算)」の取得が叶わず、補助金申請の対象事業所から外れてしまいました。他法人と比較すると大きな出遅れ感と、ライフ加算未取得という機会損失に皆が落胆しておりました。

しかし、このような現状でも介護業務テクノロジー伴走支援センター沖縄(以後…介テク沖縄)は手を差し伸べてくださり、各厚生園の特長が研修へ参加させていただけになりました。なかでも具志川厚生園は伴走支援のプログラムへも選出いただき、介テク沖縄×NTTデータ研究所のコンサルティングの協力をいただけることになりました。

今回の研修における具志川厚生園の最終目標(着地点)は①介護システムの刷新、および②働きやすい職場環境を整えた上での人材確保。そして③ライフ加算取得により収益を上げる事、としました。園内では、はじめに方向性統一のため、管理課長を中心に動画研修をYoutubeに上げ、いつでも職員が確認できる取組を行いました。また職場で皆が感じている課題をアンケートで洗い出しました。結果から、職員個々で業務に対する思いや方向性、捉え方が異なっている傾向があり、方向性の統一が必要と感じております。経営理念を大枠とし、業務標準書やタイムスケジュールに即した業務における意志統一で、「ムリ・ムダ・ムラ」を省く作業が必要と学んでいるところで、改めて「内側」に目を向ける事で、システム導入以前に介護施設としての伸びしろと課題に気が付き取組んでおります。

次年度には是非、補助金を申請して介護現場で働く職員が選ぶシステムの導入が実現することを期待して、具志川厚生園は一つになって取組んでいきます。



第58回全国社会福祉事業団大会 (IN沖縄)



事務局 企画課
事務員主任 嶺井 竜之介 (みねい りゅうのすけ)

全国大会を無事に終えることができ、改めてご参加・ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

担当者として準備に携わる中で、参加者調整・資料作成・会場運営・関係者調整など、多くの業務に向き合う日々でした。不安や焦りを覚える場面もありましたが、上司や関係団体の皆様に支えていただき、周囲の温かいサポートに助けられながら本番を迎えることができました。

当日は、大会全体が活気にあふれ、参加者の皆様が講演に熱心に耳を傾け、休憩時間には積



極的に交流されている姿が印象的でした。終了後、「学びが多かった」「有意義な出会いがあった」と声をかけていただき、担当者として励みになるとともに、大会が皆様をつなぐ機会として役立てたことを嬉しく感じました。

また、名刺交換や意見交換を通して私自身も多くの参加者の皆様とつながることができ、視野が広がる貴重な経験となりました。

今大会を担当したことで、自身の力不足を感じる場面もありましたが、多くの支えと参加者の皆様とのつながりに後押しされ、最後までやり遂げることができました。本当にありがとうございました。

令和7年度 全国社会福祉事業団協議会 九州ブロック会議及び 研修会に参加して

事務局
事務局長
はなしろ ひろやす
花城 裕康



令和7年9月5日、大分市で開催された「全国社会福祉事業団協議会九州ブロック会議及び研修会」に参加しました。

会議では、令和6年度の事業報告・決算に続き、令和7年度全国社会福祉事業団協議会の事業計画概要が示され、本年度の重点事項4項目に関する情報提供と共有が行われました。

また、国の動向については、今後の社会福祉事業の展開を示唆する各種会議内容が報告され、制度改正への継続的な情報収集と的確な対応の重要性が改めて確認されました。

後半の情報交換会では、「組織経営」「生産性向上」「人材確保」をテーマに、各事業団の現状や取組が紹介され、現場の最新動向を把握する貴重な機会となりました。

さらに、渡部行政書士・社会保険労務士事務所代表 渡部伸氏による講演「親なきあと」では、家族支援の課題と法的備えの必要性について理解を深めることができました。

次年度は沖縄県にて開催となっております。九州ブロックの皆様、沖縄でお会いできるのを楽しみにしております。

第48回九州地区救護施設 職員研究大会に参加して



いしみな救護園
精神保健福祉士
城間 健司

本研修は、地域共生社会の実現に向け、救護施設が果たすべき役割を学ぶことを目的として実施されました。特に、利用者の人権を尊重した支援と、利用者主体の個別支援の質の向上に焦点を当てた内容でした。

研修1日目では、まず救護施設を取り巻く制度改正に関する報告が行われました。具体的には、保護施設通所事業における地域枠の拡充と事業定員の下限緩和、「就労支援加算」および「地域移行加算」の新設、そして「個別支援計画書作成の制度化」について共有されました。続く意見発表では、よみかん救護園の宮里健太氏・吉田萌々氏より、「新しい生活様式で豊かな園生活を送るために」と題した発表があり、読谷村地域活動支援センターとの連携を通じた地域移行への取り組みが紹介されました。この実践報告は、地域移行を目指すうえで大変有益なものでした。



2日目は、「長崎刑務所における知的障害受刑者処遇について」の講演を通じ、知的障害受刑者の帰住先として救護施設が「頼られる生活の場」を提供することの重要性を学びました。また、記念講演として「長崎の伝統行事に見る人々の営み」の座学が行われ、500年以上の長崎県の歴史や長崎くんちの意

義を学ぶ貴重な体験となりました。最後に、令和8年度の次期開催県（沖縄県）である当園の上里育子園長が挨拶を行いました。多くの参加者から「楽しみにしている。ぜひ参加したい」との声が聞かれ、次期開催への期待の高さがうかがえました。

全国女性自立支援施設長等 研究大会に参加して

うるま 園長

新城 綾子

令和7年7月3日・4日に広島県で開催された「女性支援法を実効性のあるものにしていく方策と連携」をテーマとした協議会に参加しました。女性支援法は令和6年4月の施行から一年が経過し、2年後の見直しに向けてその検証や協議が行われました。協議会では、民間団体と女性自立支援施設との連携についての事例紹介や、女性支援法を実効性のあるものにしていくための講演が行われました。また、講義内容を受けてのグループ討議も実施され、参加者同士で活発な意見交換がなされました。国からは女性自立支援施設の入所率低下を受けて、施設のPRや地域への周知を求められているが、施設は秘密性を重視しているため、その必要性和秘密性の両立には課題があり難しさを感じています。協議会に参加することで、多くの学びや気付きを得ることができました。次年度は開催県として、今回の経験を活かし、より良い協議会となるよう精一杯取り組みたいと思います。



大阪府社会福祉事業団との 連携協定について



事務局長
花城 裕康

当法人は、令和7年9月11日、社会福祉法人大阪府社会福祉事業団と連携協定を締結いたしました。

本協定は、両法人が相互の信頼と協力のもとで、地域福祉のさらなる充実と持続可能な法人運営を推進していくことを目的としています。

内容としては、人材育成や職員研修の相互交流、外国人材受入れ支援、また災害時における人的・物的支援体制の整備など、幅広い分野において連携を図るものです。

特に災害対応に関する協力体制の構築は、福祉サービスを途絶させないための重要な取り組みであり、地域社会の安心・安全に大きく寄与するものと考えます。

このような協定の締結にあたり、ご尽力いただきました大阪府社会福祉事業団の行松英明理事長をはじめ、関係各位に深く感謝申し上げます。

今後、互いの経験と知見を活かしながら、共に学び合い、支え合う関係を築いてまいります。



公益的取り組み



理事長
金城 敏彦

高齢者の生きがいと、健康長寿を目的に当法人が主催し令和7年11月1・2日に第一回沖縄県喜寿軟式野球大会を開催

いたしました。野球の盛んな沖縄県では、ねんりんピックに還暦・古希を迎えたチームが約60チーム参加するなど年々増加しています。その反面、70代後半の野球大好きなおじいちゃんやおやぶを待たずプレーから遠ざかる傾向にあり、喜寿を過ぎても年齢相応の野球を楽しみたいとの情熱の声も多数ありました。

高齢福祉に関わる身として、沖縄県還暦軟式野球協議会と連携し開催を模索し情熱の声を実現することができました。4チーム77人の登録があり最低77歳、最高89歳の参加者のチームが熱戦を繰り広げました。喜寿を過ぎたおじいちゃんや怪我無くプレーできるのか大会前は不安がよぎりました。

しかし、心配ご無用、年齢相応によらずピッチャーはコントロール良く速い球を投げる、バッターはしっかり鋭い打球を飛ばし早く走る。しっかりと守り正確に投げる。ベンチでは勝利を目指し声を張り上げる。おじい選手たちのハッスルプレーまさに生き生きしており、応援に駆け付けた友人・知人・家族も笑顔あり、不安ありませんでした。参加

チームの監督に話を伺うと大会開催が決定した2カ月前から週2回の練習と練習試合も行った準備万端優勝を目指すという気満々だった。大会四試合とも一方的な試合はなく大接戦であった。閉会式では優勝チームや個人賞の授与式では涙する選手もいるなど喜寿を超え、まだまだ野球小僧でいるぞと充実の時間を高齢期の同年代で過ごした充実感が見られ当初の目的が達成された大会となりました。



表彰受賞者紹介

長きにわたり福祉の向上に取り組み貢献したことが評価され、その功績へ当法人職員が表彰を受けました。今後とも、利用者本位のサービスの質の向上と経営基盤の強化を図るとともに、広く地域に貢献し、地域の人々に信頼され愛される施設（法人）を目指す一員として各々の役割を担って参ります。

全国社会福祉協議会会長表彰

《受賞者》

（30年以上勤務）

都屋の里 施設長
具志川厚生園 介護員
具志川厚生園 介護員
具志川厚生園 介護員
具志川厚生園 介護員
宮城尚
安次富司
照屋智
新垣敏浩

第68回沖縄県社会福祉大会会長表彰

《受賞者》

（25年以上勤務）

八重山厚生園 生活支援課長
沖繩療育園 育成課長
沖繩療育園 サービス管理責任者兼
児童発達支援管理責任者
具志川厚生園 介護員
北嶺学園 介護員
北嶺学園 介護員
北嶺学園 介護員
八重山厚生園 介護員
新井克紀
中村亜由美
田場貴子
照屋智
横田久夫
平田静佳
知念和美
豊川とき子

《受賞者》

（15年以上勤務）

沖繩療育園 医務課長
沖繩療育園 看護師
沖繩療育園 看護師
沖繩療育園 事務員
沖繩療育園 介護員
楚南盛章
野原利恵美
兼城洋子
松浦幸恵
津波明美

第58回沖縄県身体障害者福祉大会会長表彰

《受賞者》

（20年以上勤務）

都屋の里 介護員

《受賞者》

（10年以上勤務）

沖繩療育園 臨床検査技師
沖繩療育園 介護員
沖繩療育園 介護員
沖繩療育園 介護員
沖繩療育園 介護員兼児童指導員
沖繩療育園 介護員
都屋の里 看護師
都屋の里 介護員
都屋の里 介護員
都屋の里 介護員
松田勝
島尻清美
屋嘉洋子
玉城彩乃
照屋さとみ
稲福京子
上江洲和樹
仲原祐子
當山末美
平安名美由起
宮城ゆかり

新役員あいさつ

沖縄県社会福祉事業団



理事
福地 政幸
ふくち まさゆき

初春の候、謹んでお歓び申し上げます。
沖縄県社会福祉事業団の高齢種別理事を
拝命頂きました。具志川厚生園、園長の
福地政幸と申します。

令和5年度に園長へ就任させていただ
いてから、金城理事長、事務局長・事務
部長のご指導・ご鞭撻と、法人内外の役
職の皆様、知花前園長をはじめとする先
輩方、そして同僚の皆様と、素晴らしい
仲間の大きな支えがあり、現在に至って
おります。あらためて感謝を申し上げます。

さて、老人福祉においては、「人×介
護DX」という時代の変遷が起こっており
ます。ほとんどの業種が少子高齢化の
煽りを受け、人材確保とICT化の導入
いう大きな課題に直面しております。同
時に事業団もその中核部である沖繩療育
園の建て替えという大きな躍進を控えて
おります。首相も変わり社会保障につい
ては不安と期待が入り混じる今、強い団
結が求められていると感じます。来る
2040年には四厚生園が法人の支えと
なり活躍できるように精進していきま
す。

役員及び 評議員名簿

（令和7年6月26日現在）

役員

理事長 金城 敏彦

理事 花城 裕康

小橋 川務

宮城 尚

野田 里子

福地 政幸

友利 健太

竹藤 登

評議員

評議員

上地 武昭

嘉陽 孝治

西里 喜明

上原 豊仁

喜瀬 一史

新垣 貞美

田中 寛



施設長リレーエッセイ

「犬が来た」

都屋の里
園長 長

宮城 尚
みやぎ なお



末娘の「犬を飼いたい!ちゃんとお世話するから」昔からお願いに根負けし約8年前、我が家に犬が来ました。気が付けば子ども達は遊ぶだけ。お風呂、散歩、排泄の片付けは私。犬が目を見せ、はしゃいで遊ぶのは子ども達。でもいいのです。どこにでも文句言わずについてきて、それなりに寛ぐ犬を見て「幸せな時間を共有している」と勝手に思っています。

犬を迎えて気付いたこと。①思いのほか臭くない(マヒしている?)②スマホの写真がほとんど犬③自分が一番好かれていると家族が言い合う(長女は2回噛まれている)④家に帰ると真っ先に犬⑤犬なりに家族の役割分担がある。

今年の11月で8歳。人年齢でいえば熟女となり同世代なんだなあ。共に健康管理に注意していきたいと思えます。

いたずらしたとき、よく妻に「ベック!NO」と怒られますが、私にも「なほ!NO」と言うのはやめて頂きたいです。

これからも、楽しい時間を一緒に過ごそうね。ベック!



職員の語らい

シリーズチャンピオンに向けて

都屋の里
理学療法士
かみざと よしつぐ

神里 義嗣
かみざと よしつぐ



皆さん、ジムカーナという自動車競技をご存じですか?

ジムカーナとは舗装路面に設定されたコースを、競技車両が1台ずつ走行するタイムトライアルの自動車競技です。

2025年BC1クラスのシリーズチャンピオンを獲得することが出来ました!

最終戦までに、チャンピオン候補が4人もいる激戦状態。最終戦では10位に入り、チャンピオン候補が私よりも下位になった為、念願のシリーズチャンピオンになりました。

沖縄から参戦には、多くの苦労がありました。競技車両は本土に置いていたので、決勝前の前日公開練習で、車への「慣れ」やコース攻略をどうするのかを、考えながら準備しました。

2025年は、天候に左右される事が多く、最終戦の鈴鹿南サーキットも同様であったと思います。その中でも、地道に結果を残せて良かった事です。スポンサーやチームの皆に支えられて、ようやく掴んだシリーズチャンピオンだと感謝しています。

これからもチャレンジ精神を忘れずに、モータースポーツの発展に貢献していけるように頑張りたいです。



施設だより

9年ぶりの宮古厚生園納涼祭



平良 祐将
ひらら ゆうと

宮古厚生園
生活相談員

令和7年8月25日、宮古厚生園では9年ぶりとなる納涼祭を開催しました。コロナ禍で何年も開催が見送となり、園行事の中でも特に盛大に行われる納涼祭が出来ない事に歯がゆい気持ちでいっぱいでした。今年度も開催日が近づくと、コロナの感染状況を常に気にしながら準備を進めていきましたが、無事に開催する事が出来ました。9年ぶりという事もあり、納涼祭を経験している職員も少なく、手探りで準備を進めていきましたが、行事委員をはじめ、多くの職員が積極的に関わったおかげで、不安は一気になくなり準備段階から楽しい雰囲気でした。

納涼祭当日は、想像より多くの家族や地域住民の来場があり、キッチンカーや余興、打ち上げ花火等を利用者と一緒に楽しまれました。

大成功となった納涼祭でしたが、課題や改善点等の意見も多く上がった為、次年度へ活かしながら盛大な納涼祭が開催できるように、宮古厚生園全体で取り組んでいきたいです。



読谷村まつりに参加して



宮里 貴
みやざき たかし

よみたん救護園
介護員

地域交流を目的として、今年の読谷村まつりに当施設も出店いたしました。前日までの悪天候が嘘のように、当日は晴天に恵まれ、絶好の祭り日和となりました。

各職種の職員が協力し合い、利用者のいきいきとした姿や本来の表情が随所に見られました。接客を通じて、主婦や家族連れ、小さなお子さまなど多くのお客様が足を運んでくださり、心を込めて準備した商品を購入していただきました。出品したのは、日々の生活の中で育てた野菜や花、陶芸作品そして利用者が手作りしたプレスレックトなど。リーズナブルな価格ながらも、手作りならではの温かみが伝わり、多くの方に価値を感じていただけたいように思っています。

私自身にとつては初めての参加でしたが、地域とのつながりの大切さを改めて実感するとともに、イベントを通して職員同士の一体感が生まれる貴重な機会となりました。今後も地域に根ざした活動を続け、利用者の皆さんが輝ける場を広げていきたいと思います。



施設入所・各種サービスのご相談について

当法人では、介護・障がい・医療・救護・児童・保育の分野を運営しています。ご高齢の方や障がいがある方、保育所の利用に関するご相談はこちらまで、お気軽にご連絡下さい。

高 齢		
名護厚生園 (名護市)	・特別養護老人ホーム ・養護老人ホーム ・短期入所・訪問介護 ・居宅介護支援事業所 ・地域包括支援センター	0980-52-3283
具志川厚生園 (うるま市)	・特別養護老人ホーム ・養護老人ホーム ・短期入所・訪問介護 ・居宅介護支援事業所 ・地域密着型通所介護	098-972-6677
宮古厚生園 (宮古島市)	・特別養護老人ホーム ・養護老人ホーム ・短期入所・訪問介護 ・居宅介護支援事業所 ・通所介護	0980-72-2422
八重山厚生園 (石垣市)	・特別養護老人ホーム ・養護老人ホーム ・短期入所・訪問介護 ・居宅介護支援事業所	0980-82-2334
保 育 所		
にしのもり保育園 (石垣市)	毎月 20 日に園庭開放 を行っています。	0980-87-5145

障がい		
都屋の里 (読谷村)	・生活介護・施設入所 ・短期入所	098-956-1150
北嶺学園 (那覇市)	・日中一時支援 (北嶺のみ) ・生活介護・施設入所 ・短期入所・グループホーム ・就労継続支援 B 型 ・相談支援事業所	098-886-2126
あけぼの学園 (宮古島市)		0980-72-1660

医 療		
沖縄療育園 (浦添市)	・医療型障害児入所施設 ・療養介護・短期入所 ・生活介護 ・児童発達支援事業所 ・日中一時支援	098-877-3478

救 護		
よみたん救護園 (読谷村)	身体・知的・精神の障害 や依存症などの生きづら さを抱えて、経済的な問 題も含め、日常生活を営 むことが困難な状態の要 保護者を入所させて、生 活扶助を行う施設です。 ※市町村等の措置権者か らの入所調整により入所 となります。	098-982-8900
いしみね救護園 (那覇市)		098-886-2136

沖縄県社会福祉事業団で働いてみませんか

令和 7 年 12 月 26 日現在

募集職種	必要資格	募集施設	勤務形態
介護員	資格の有無不問 (※介護福祉士 あれば尚よし)	①沖縄療育園 ②具志川厚生園 ③名護厚生園 ④宮古厚生園 ⑤八重山厚生園 ⑥よみたん救護園	基本： 三交代勤務。 勤務時間・ 勤務形態は 相談に応じます
看護師 准看護師	正看護師 准看護師	①沖縄療育園 ②具志川厚生園 ③宮古厚生園 ④八重山厚生園 ⑤よみたん救護園	①三交代勤務 ②夜勤無しの 交代制勤務
介護支援専門員	介護支援専門員 (有効期限内)	①具志川厚生園 ②名護厚生園 ③宮古厚生園	日勤のみ
介護員 (夜間専属職員)	資格の有無不問 (※介護福祉士 あれば尚よし)	①具志川厚生園 ②宮古厚生園 ③八重山厚生園 ④よみたん救護園	夜間勤務のみ
薬剤師	薬剤師	沖縄療育園	日勤のみ
保育士	保育士	①沖縄療育園 ②にしのもり保育園	①日勤のみ (産休・育休代替) ②シフト制

応募方法

法人事務局へ電話連絡後、次の書類を提出。
①履歴書 ②職務経歴書 ③資格証写し
④応募調書(法人指定様式を HP よりダウンロード)
電話：098-884-3173

各事業所の詳細及び、求人の詳細については、
QR コードからご確認ください



以前より発達支援に携わりたいと考えていた時、友人から沖縄療育園を紹介して頂きました。

実際に勤めると、発作時の対応や、これは発作？と不安になる事が多かったのですが、先輩スタッフのサポートのおかげで安心して業務に取り組みれています。

温かく迎え入れてくださり、ありがとうございます。園の一員として貢献できるよう日々精進して精一杯努めてまいります。



沖縄療育園 看護師
みやざき ちえみ 宮里 千絵美

この度ご縁があり、皆さまと一緒に仕事ができることをとても嬉しく思っております。私は本土で前職として介護の仕事に携わっておりました。仕事を通して「人の暮らしに寄り添うことの大切さ」を実感し、やりがいを感じながら日々過ごしていました。

沖縄へ戻ってきた際も、自然と「また介護のお仕事を続けたい」という思いが強くなり、友人へ相談したところ「自分の働いている職場も募集しているよ」と名護厚生園を紹介してもらい、このご縁につながりました。

入職してまだ間もないため、慣れないことや覚えることもたくさんありますが、先輩方がやさしく声をかけてくださり、とても温かい雰囲気の中で学ばせていただいています。毎日が新しい発見の連続で、少しずつではありますが自分なりに成長を感じられるようになりました。

これからも利用者一人ひとりに寄り添い、安心して過ごしていただけるお手伝いができるよう、丁寧な関わりを心がけてまいります。まだまだ未熟な点も多く、ご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、温かく見守っていただけたら幸いです。どうぞこれからよろしくお願いいたします。



名護厚生園 介護員
よなみね しんご 與那嶺 心吾